



AXIS Camera Station

ネットワークカメラの映像録画や再生、
システム管理を一元化する、ビデオ管理ソフトウェア

AXIS Camera Station

Axis製品の機能を最大限に活用するために開発されたビデオ管理ソフトウェア
- それがAXIS Camera Stationです。

ネットワークカメラの映像録画・再生だけでなくシステム管理も一元化でき
限られたリソースを最大限に活用できます。

さらに、Axisのオーディオ製品や入退室コントロール製品、人数計測など
のインテリジェント映像とも統合できる、将来性の高さもポイントです。

AXIS Camera Stationの6つのポイント

メニューはたったの4つ



ユーザーインターフェースは、左上の4つのボタンをマウスでクリックするだけで作業を進められるよう、分かりやすくデザインされています。

他社の2倍以上の録画時間



H.264互換でAxisが独自に開発した「Zipstreamテクノロジー」で、画質を損なわずにデータ量を従来の50%以上削減しています。

安心のセキュリティ対策



業界ナンバーワンのセキュリティ対策を確立し、カメラや録画映像への不正アクセスを防ぎます。カメラ本体のファームウェアの更新も簡単。

将来の拡張にも対応



180機種以上のAxis製品に対応！
Axisのオーディオ製品や物理アクセスコントロール製品との統合も可能で、将来のシステム拡張にも対応します。

モバイル用アプリにも対応



Axis モバイル監視アプリを使うと、監視領域で発生した事象の状況をどこにいてもタイムリーに把握できます。iOSおよびAndroid用に無償で提供しています。

世界で5万件以上の実績



機能や信頼性で5万件以上の実績。
パソコンやワークステーションへのインストールや、PoEスイッチ内蔵のアプライアンス型レコーダーにも対応しています。

製品ラインナップ

AXIS Camera Stationはビデオ管理ソフトウェアとして設計されています。最新バージョンへのアップデートも無償で行うことができ、新しいAxis製品への対応も迅速です。

AXIS Camera Station ソフトウェアライセンス

PCワークステーションやサーバーにインストールして使用する形態です。映像にアクセスするクライアント用PCに、お使いになるカメラの台数分のライセンスが必要です。カメラを増設する際には必要な数だけライセンスを追加いただける柔軟性があります。

AXIS Camera Station S10 レコーダーシリーズ

検証済みのハードウェアとディスクを組み込んだ形態です。16台、32台、48台のAXIS Camera Stationライセンスがあらかじめ組み込まれています。アクティブな監視を必要とする用途向けに、最大64台分の中規模システムを構築できます。

AXIS Camera Station S20 アプライアンスシリーズ

検証済みのハードウェア、ディスク、PoEスイッチをひとつのパッケージに組み込んだ形態です。8台、16台、24台のAXIS Camera Stationライセンスがあらかじめ組み込まれています。決められた台数以上のライセンスを追加することができますが、カメラを繋いですぐに導入・設定を行える利点があります。

AXIS Camera Station ライセンス

ライセンスタイプ	対応カメラ台数
Coreデバイスライセンス	32台以内
Universal デバイスライセンス	33台以上

システム条件は、本ガイドの裏表紙に記載しています

AXIS S10レコーダーシリーズ モデル

モデル名	ライセンス	ストレージ	RAID
AXIS S1016	16台	4TB x 2	なし
AXIS S1032 *	32台	4TB x 4	設定可
AXIS S1048 *	48台	4TB x 6	設定可

* S1032、S1048はラックマウント型

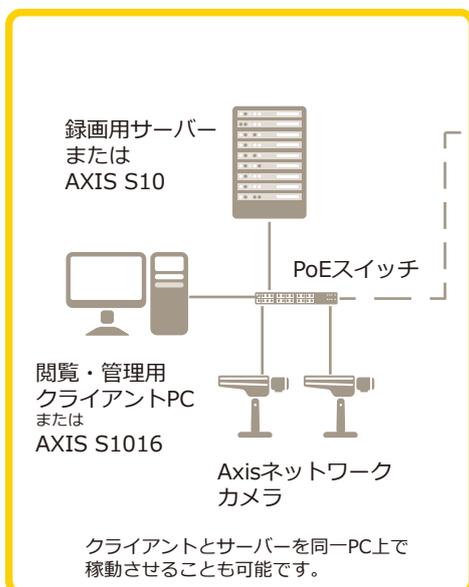
AXIS S20アプライアンスシリーズ モデル

モデル名	ライセンス	ストレージ	PoE スイッチ
AXIS S2008	8台	4TB x 1	搭載
AXIS S2016 *	16台	4TB x 2	搭載
AXIS S2024 *	24台	4TB x 3	搭載

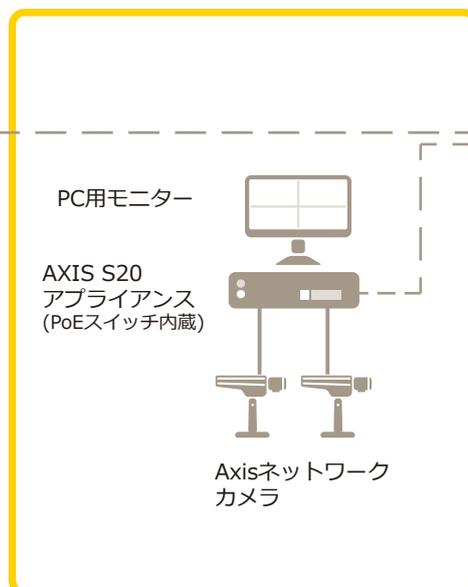
* S2016、S2024はラックマウント型

主なシステム構成

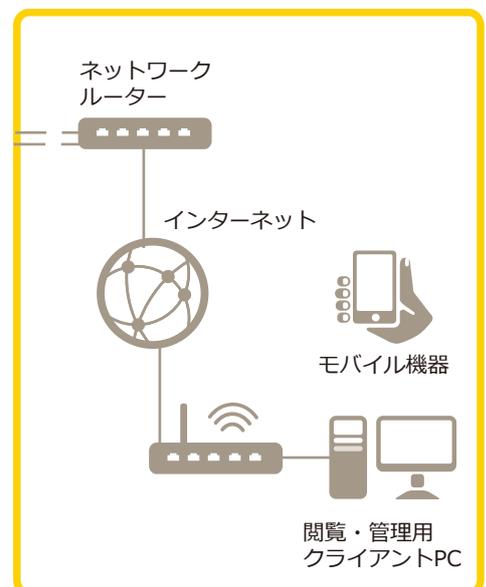
PCまたはAXIS S10による構成



AXIS S20アプライアンスによる構成



リモートアクセス構成





直感的で容易な操作

パソコン用ソフトウェアのインターフェイスに基づいた画面設計で、直感的で容易な操作を実現しています。表示する映像やWebページの配置も自在に設定・変更が可能です。

基本メニュー 閲覧、録画映像、ログ取得、設定の切替を行います

マップ表示 画像上にカメラへのリンクを配置できます

ツリーメニュー
接続したカメラや
ビューの切替を
行います

PTZ操作
マウスまたは
ジョイスティックで
パンチルトズームの
操作が可能です

Webにも対応
URLを指定して
Webページを
表示できます

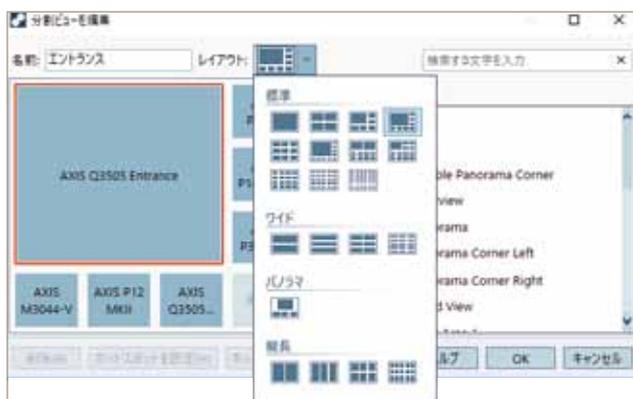


アラーム・タスク表示
システムのエラーや予め設定したアラーム表示、
稼働中のタスクの進捗状況や履歴が表示されます

メイン表示
接続されたカメラの映像、録画済みの
映像を表示したり、設定メニューを表示します

複数台のカメラ映像を、画面内に分割して同時表示

モバイル用アプリでリモート接続



システムに接続された複数台のAxisネットワークカメラの映像を、分割して同時表示する機能を搭載しています。ライブ表示の場合はカメラ1台から最大36台までの同時表示に、録画表示の場合は最大4台の同時表示に、それぞれ対応しています。配置するカメラ、Web画面などの設定も簡単な操作で行えます。

Axis モバイル監視アプリは、無償でダウンロード提供されています。どこにいても監視領域で発生した事象の状況をタイムリーに把握できるようになります。アプリはiOSおよびAndroidの各モバイルOSに対応しています。

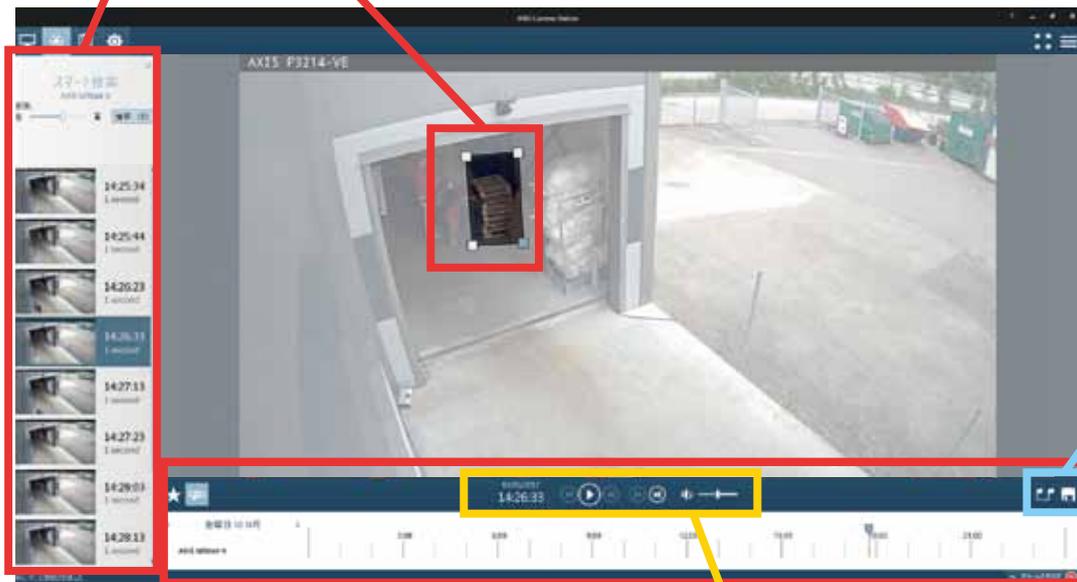


必要な映像を迅速でパワフルに発見

録画映像を後からプレイバックするのも簡単です。パワフルな検索機能により、必要な映像を迅速に発見できます。

スマート検索

映像内の指定した箇所をすばやく検索します。動きがあった時の映像をサムネイルで表示します。



映像取り出し
範囲を指定して
映像を取り出します

タイムライン表示

スライド部分のマーカーをドラッグして動かすことで、映像の早送り・早戻しもクイックに

ナビゲーションパネル

倍速再生、スロー再生など、ビデオデッキのような感覚で、録画映像をチェックできます。複数の映像を同時・平行で見ることも可能です

カメラごとにきめ細かく録画設定が可能



録画映像の取り出しは簡単、再生ソフトも付属



3.再生用ソフト付き
録画映像を出力

カメラごとにフレームレートや解像度を設定して録画できます。重要度の高い場所に設置されたカメラは高解像度、高フレームレートにするといった設定が可能です。設定メニューも分かりやすく構成され、動体録画、連続録画、手動録画のそれぞれを簡単に設定することができます。

録画した映像を外部の記録メディアに取り出すのも簡単です。取り出したい範囲を選択して、保管先のディスクまたは記録メディアを指定するだけです。取り出した映像には再生用のソフトウェアが付属し、他のWindowsパソコンでも容易に再生できます。

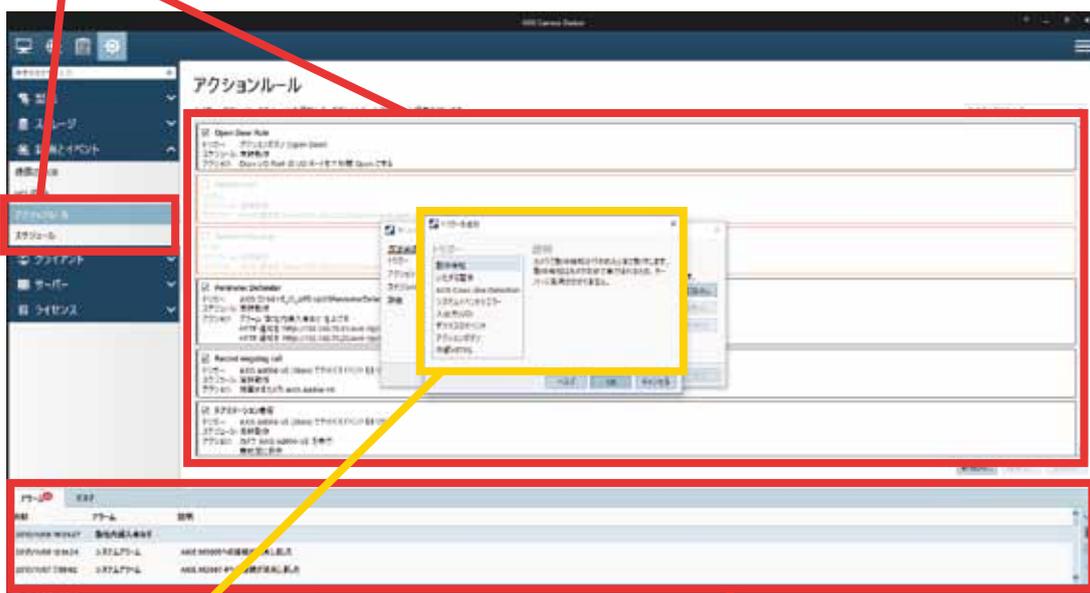


映像内の動きやアラーム、外部機器との連動

ビデオ動体検知、アクセスコントロール、ドアステーションなど、さまざまなソースから通知を受信してイベントとして処理することができます。

イベントの設定

条件の設定、条件に対する動作、作動させる日時などを、順を追って設定し、一覧で管理できるデザインです。



トリガー/アクションの設定

動く被写体を検知した場合、外部センサーで検知した場合などメニューからトリガーを設定できます。また、メール通知や外部機器のオン・オフなどのアクションもここで設定します。

イベントの履歴

設定したイベントが発生した場合、アラームメッセージと発生日時が表示されます。

対応するハードウェア



このほか、HTTP通知を受信可能な機器やメールサーバー、警告灯などとの連動も可能です。

Axisネットワークカメラ

固定ボックス、固定ドーム、PTZ、モジュラー型、サーマルなど、180機種以上の豊富なラインアップを揃えています。新しいモデルが発売された場合も、迅速にソフトウェアアップデートで対応。

Axis I/Oオーディオモジュール

システムに I/O モジュールを追加することにより、ドアスイッチの接続、照明のコントロール、バリアの開閉などが可能になります。

Axisドアステーション

システムにドアステーションを追加することにより、訪問者を識別して会話をするとともに、入館をコントロールすることができます。

Axis ネットワークスピーカー

スタッフとのリモート通信や侵入者の阻止を目的として、トリガーまたはスケジュールによるメッセージを設定します。



アクシスならではの利点を最大限に活用

アクシスは、映像監視のテクノロジーに常に革新をもたらす、さまざまなテクノロジーを提供しています。従来では困難だった環境でも有用な映像を撮影したり、録画に必要なデータ容量の節約、そしてサイバーセキュリティの向上など、多くの利点を最大限にご活用いただけます。

低照度でもカラー映像、Lightfinderテクノロジー



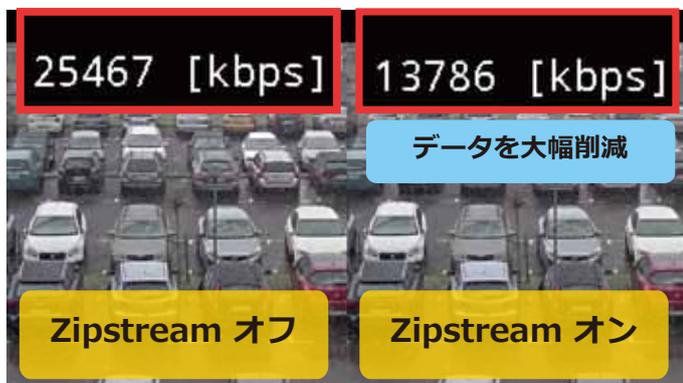
アクシスの Lightfinder テクノロジーを搭載したカメラは、卓越した光感度を備え、0.18 ルクスという低照度環境でもカラー画像を生成できます

逆光に強い、AxisのWDRテクノロジー



高度なアルゴリズム群を適用することでノイズレベルを下げ、画像信号を増大させることにより、シーンの詳細部分すべてを可能な限り最良の方法で表示します。

録画時間が他社の2倍！ Zipstreamテクノロジー



Axisが独自に開発した「Zipstreamテクノロジー」で、画質を損なわずにデータ量を平均50%以上削減しています。H.264との完全な互換性があります。

録画の冗長化やリモートアクセスにも対応



カメラに装着したSDメモリーカードを利用して録画の冗長化を提供するフェイルオーバー録画に対応。複雑な設定なしでリモートアクセスを可能にする Secure Remote Accessサービスも提供されています。

技術仕様 – AXIS Camera Station

一般	
対応言語	AXIS CameraStation 5.0: 英語 AXIS CameraStation 5.1での対応予定: 対応予定の言語。アラビア語、中国語(簡体字)、中国語(繁体字)、チェコ語、オランダ語、フィンランド語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、日本語、韓国語、ペルシア語、ポーランド語、ポルトガル語(ブラジル)、ロシア語、スペイン語、スウェーデン語、トルコ語、およびベトナム語。
ライセンス	デバイスライセンス: CoreDeviceライセンスはシステムごとに最大32個のAxisデバイスに対応、UniversalDeviceライセンスは32個を超えるAxisデバイスおよび互換性のあるサードパーティデバイスに対応します。 アップグレードライセンス: AXIS CameraStation 4からUniversalへのデバイスライセンス。CoreDeviceライセンスからUniversalDeviceライセンス。30日間の試用版(フル機能)からライセンス版へのアップグレードが可能
対応製品	Axisネットワーク製品: ファームウェアバージョン4.30以降を搭載したAxisネットワークカメラとエンコーダ(HD、標準解像度、高解像度、パン/チルト/ズーム、サーマルカメラを含む)。 AXIS P8821 I/Oオーディオモジュール、 AXIS A1001 ネットワークドアコントロールローラー、 AXIS A8004-VEドラスターション、AXIS C3003-Eホーンスピーカー サードパーティデバイス: IEC62676-2-3規格の主要な機能を持ったサードパーティデバイスのサポート
付属品	インストールガイド CD(ソフトウェアおよびユーザーマニュアルを収録)
システムアクセサリ	AXIS T8310ビデオ監視コントロールボード
ビデオ	
音声	双方向音声ストリーミング、AAC、G.711、G.726圧縮
ビデオ圧縮	H.264 (MPEG-4 Part 10/AVC)、Motion JPEG、選択したカメラでのAxis独自のZipstreamテクノロジーのサポート
解像度	すべての対応製品の解像度をサポート(最大8.3メガピクセル(4K))
フレームレート	カメラごとに最大60イメージ/秒
ストレージ	
ストレージメディア	ローカルのハードドライブまたは高性能NASをストレージとして使用
ストレージ容量	録画データベースのサイズ制限なし(利用可能なディスク容量に依存) 地域の法的要件に応じてカメラごとに録画の保存期間を設定可能
ライブビュー	
カメラのライブビュー	ライブビューを柔軟に構成可能、Axis CorridorFormat、複数のモニター、ホットスポット、カメラ/ビューシーケンス、サイトマップ、Webページ、デジタルPTZ、イメージエンハンサー
PTZ	マウス、キーボード、またはジョイスティックを使用したPTZカメラのコントロール、エリアズーム、設定可能なホットキー
再生	
録画の検索	カメラ、日付・時刻を条件にした録画の検索が可能 タイムライン表示、スマート検索、ビデオスクラッピング、ブックマーク、録画の削除を防止するロック機能
再生	最大64倍速または1フレームずつの再生が可能 最大25台のカメラからの映像を同時に再生可能
エクスポート	手動エクスポートとスケジュールによるエクスポート JPEG形式の単一画像、ASF形式のビデオ エクスポートする録画へのデジタル署名、再生用の専用ソフトウェアを添付可能
トリガー/イベント	
イベントトリガー	ビデオ動体検知、いたずら警告、AXIS CrossLineDetection、外部I/O、アクションボタン、システムトリガー、デバイスイベントトリガーによるイベントのトリガー

スケジュール録画	カメラごとに録画スケジュールを設定し、連続録画または平日および週末の録画のカスタマイズが可能
アラームアクション	録画、ビジュアル通知、音声アラート、カメラ/ビューへの切り替え PTZプリセットポジションへの移動、電子メール、アラームガイド、外部I/Oのアラーム応答、HTTP通知
ログ	アラームログ、イベントログ、監査ログ
システム	
拡張性	ユーザーインターフェースは最大50台のカメラのあるシステムに最適化。ソフトウェアは、システムハードウェア仕様による制約に従い無制限の台数のカメラに対応(推奨システムハードウェアを参照)。
推奨オペレーティングシステム	Windows8.1 Pro 64ビット、Windows10 Pro 64ビット。 サポート対象のすべてのオペレーティングシステムについて、www.axis.comのリソースノートを参照
システムの検証	AXIS InstallationVerifierでは、設置後にシステムの検証を行います。これには、カメラの負荷、録画の負荷、ナイトモードのシステム、およびシステムストレスのテストが含まれます。
モバイルアクセサリ	AndroidデバイスおよびiOSデバイス用アプリがAxisより提供されています
セキュリティ	ローカルコンピューターまたはWindowsドメイン(ActiveDirectory)のユーザー設定を使用したパスワード保護による複数のユーザーアクセスレベル SDカードを装着したカメラでのフェイルオーバー録画

推奨システムハードウェア
ACSシステムのハードウェア要件は、カメラで生成されてクライアントが取得した合計帯域幅に依存します。以下の推奨事項は、街角のシナリオをベースにしており、H.264 Zipstreamレベル低(10)エンコーディング1080p解像度のカメラ、25フレーム/秒、推定平均帯域幅3.80 Mbit/sです。カスタマイズされた帯域幅の推定にはAxis Site Designerを使用してください。予期しないシステムシャットダウンを避けるために、サーバーには常にUPSを使用することが推奨されています。

小規模システム、クライアントとサーバーの組み合わせ
最大100Mbit/sのビデオデータ(上記の仕様では最大26ビデオチャネルに相当)、
Intel Core i5 2.9 GHz以上、
8GB DDR3-1600 RAM、NVIDIA GeForce GTX 750 1 GBなどのグラフィックカードと1 GBの専用ビデオメモリ、ハードドライブSATA
6 Gbit/s 7200 RPM エンタープライズクラス - 最適なパフォーマンスのためにドライブあたり最大48Mbps。

大規模システム、個別のクライアントとサーバー
最大256Mbit/sのビデオデータ(上記の仕様では最大67ビデオチャネルに相当)。
クライアント:
Intel Core i7、たとえばIntel Core i7-4770 QuadCore 3.4Ghz、
8 GB DDR3-1600 RAM、1 Gbit/s ネットワーク、
NVIDIA GeForce GTX 750 1 GBなどのグラフィックカードと1 GBの専用ビデオメモリ。
サーバー:
Intel Core i7、たとえばIntel Core i7-4770 QuadCore 3.4Ghz、
8 GB DDR3-1600 RAM、1 Gbit/s ネットワーク、ハードドライブSATA
6 Gbit/s 7200 RPM エンタープライズクラス - 最適なパフォーマンスのためにドライブあたり最大48Mbps

マルチサーバーシステム
上記よりもパフォーマンス要件が高いすべてのシステムでは、複数のサーバーを使用します。他のACSサーバーを追加して、各サーバーが上記の仕様内に収まるようにサーバーごとの帯域幅の負荷を均等に振り分けます。



アクシスコミュニケーションズ株式会社
www.axis.com

お問い合わせ・ご相談はAxisチャンネルパートナーへ: